

茨歯発第 215 号  
令和 元年 7月24日

茨城県歯科衛生士会長 様

公益社団法人 茨城県歯科医師会  
会 長 森永 和男

### 「禁煙支援研修会」の開催について

歯科口腔保健事業の推進につきましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、下記のとおり禁煙支援研修会を開催しますので、ご案内いたします。

講師は、東京都板橋区歯科医師会総務理事の花島直樹先生です。花島先生は、日本禁煙推進医師歯科医師連盟会員、日本禁煙学会認定禁煙専門歯科医、さらにNPO法人禁煙ネット理事を勤められ、多方面から積極的に禁煙支援活動を推進されています。今回、受動喫煙、新型タバコの問題を取り上げ、禁煙支援についてご講演いただきます。

禁煙支援・相談歯科医院に登録されている先生方はもちろん、多くの歯科医師の先生方やスタッフの皆様のご参加をお待ちしております。

どなたでもご参加いただけますので、ご周知のうえ、貴会関係者の出席について、特段のご配慮をいただきたくお願い申し上げます。

#### 記

- 1 日 時 令和元年10月10日(木) 18時30分～20時30分
- 2 場 所 茨城県歯科医師会館 3階 講堂  
水戸市見和2丁目292-1 TEL 029(252)2561
- 3 内 容 演題「タバコは Ver. 4.0へ 口腔医としての使命」別添要旨参照  
東京都板橋区歯科医師会 総務理事 花島 直樹 先生
- 4 受講料 無料
- 5 申込み 別紙申込書にて、10月1日までに、FAXを送信してください。

## 【講演要旨】

### 「タバコは Ver. 4.0 へ 口腔医としての使命」

健康増進法の改正によりわが国でもようやく受動喫煙を受けないことが当たり前の環境になりつつある。

当然タバコでさえ低下をたどる喫煙率のさらなる低下が予想される。そこでタバコ会社の生き残り戦略として編み出された物が「分煙」と「新型タバコ」である。「分煙」に関してはWHOもすでに意味が無いと結論を出している。また、害の少ないイメージを強調している新型タバコではあるが、その毒性については明確ではないことが多い。しかしながら多くの専門家は「為害性は従来のシガレットとほとんど変わらない」という見解を持っている。

忘れてならないのは、新型タバコであろうとレガシーシガレットであろうと、「ニコチン依存症」という薬物依存によるタバコ摂取という根本は全く変わらないということである。

顎口腔の専門医である我々は、口からタバコを吸うという行為がまず「口の誤った使い方」であることを真摯に受け止め、その真実を伝える責務がある。また禁煙支援という視点でも我々歯科医、歯科衛生士は非常に重要な最前線に立っていることを今一度認識し、健康保険の点数は直接付いていないものの、日々の臨床で「自らの口から」禁煙支援を行うことの重要性に気づいていただきたい。

## 講師 略歴

### 花島直樹 (はなしま なおき) 先生

1960年 4月1日 生まれ  
1984年 日本大学 歯学部卒業 (洋弓部)  
1986年 京都大学大学院 薬学研究科薬理学教室 内地留学  
1988年 日本大学大学院 歯学研究科修了 生理学専攻  
1989年 (株)日立製作所 小平記念東京日立病院 歯科勤務  
2002年～ 花島歯科医院勤務  
2007年～ 東京都港区みなと保健所 臨時職員 (禁煙相談担当)  
2008年～ 陸上自衛隊練馬駐屯地 医務室 外部委託歯科医師  
現在に至る

公益財団法人 東京都板橋区歯科医師会 総務理事

日本禁煙推進医師歯科医師連盟会員

日本禁煙学会認定 禁煙専門歯科医

NPO 法人 禁煙ネット 理事



座右の銘 「予防に優る治療なし」

別紙

茨城県歯科医師会 事務局 行

FAX番号：029-253-1075

## 「禁煙支援研修会」

(10月10日(木) 茨城県歯科医師会館 ) 参加申込書

所属 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部署	職種	備考